平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名　株式会社イナリサーチ　　上場取引所　大
コード番号　2176　URL　http://www.ina-research.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中川博司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長　(氏名) 野竹文彦　TEL 0265-73-6647

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,517	9.2	13	―	1	―	17	―
24年3月期第2四半期	1,389	△24.7	△13	―	△40	―	△22	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　27百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△54百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5.78	―
24年3月期第2四半期	△7.45	―

当社は、平成24年10月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	4,297	1,735	38.2	547.84
24年3月期	4,534	1,732	36.5	552.37

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　1,642百万円　24年3月期　1,656百万円

当社は、平成24年10月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	800.00	800.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成24年10月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成25年３月期(予想)の配当予想については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,380	18.1	128	―	91	―	51	―	16.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成24年10月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、１株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	29,982 株	24年3月期	29,982 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	― 株	24年3月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	29,982 株	24年3月期2Q	29,982 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9
（７）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における医薬品業界におきまして、医療費抑制政策等の影響を受けた大手製薬企業では、非臨床試験段階でのパイプラインの絞込みと委託費用の圧縮を継続しております。このため当社グループの主力事業が大きく関わる非臨床試験市場の成長は依然として不透明であり、CRO（受託試験研究機関：Contract Research Organization、以下「CRO」と言います。）間の受注競争が続いております。

当社グループでは、前連結会計年度に決定した経営合理化策に基づき、平成24年３月閉鎖のフィリピン臨床施設の外部への売却を完了いたしました。また、全セグメント（非臨床試験、臨床試験、環境）の黒字化を目指して取り組んでまいりましたところ、いずれも営業利益を確保することが出来ましたので今後も引続き経営の合理化に注力してまいります。

主力の非臨床試験では、売上高及び営業利益ともに前年同四半期実績を下回りました。これは、前年後半の受注が伸び悩んだことによる売上の減少と稼働率低下及び受注競争での受注価格引下げによる利益率低下によるものであります。しかし、受注不振に対しては、現在、営業戦略会議等において情報共有化を図り営業と試験部門とが連携した営業活動の展開と、得意とする試験系の拡大で挽回に取り組んでおります。また、免疫寛容動物（カニクイザル）の研究を大学と連携して取り組んでまいりましたところ、iPS細胞や移植医療及び再生医療の研究に提供できるモデル作出の可能性が見込めており、一層連携を密にしてまいります。

臨床試験は、かねてより取り組んでまいりましたThorough QT試験(サロ・キューティー試験、以下「TQT試験」と言います。）及び探索QT試験において、大型試験が売上となり、新たな大型試験も受注となりました。問合せも依然活発な状況にあり業容の拡大に取り組んでまいります。

環境では、研究機関動物飼育施設への空調機及びスクラバー等大型設備工事（第１四半期連結会計期間）に加え、実績ある動物飼育機材の売上がありました。

この様な状況のもと、当第２四半期連結累計期間における売上高は1,517,306千円（前年同四半期比9.2%増）、営業利益は13,342千円（前年同四半期は営業損失13,090千円）、経常利益は1,303千円（前年同四半期は経常損失40,035千円）、四半期純利益は17,314千円（前年同四半期は四半期純損失22,340千円）となりました。なお、フィリピン臨床施設の売却では特別利益52,282千円を計上いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 非臨床試験

当第２四半期連結累計期間における売上高は1,278,782千円（前年同四半期比4.3%減）、営業利益は5,997千円（同84.7%減）となりました。製薬企業の開発動向と受注競争の激化に伴う受注価格の低下に対し、グループ全体で、更に試験の信頼性を高めるとともに徹底したコスト削減に取り組んでおり、今後とも継続してまいります。また、幹部職員及び専門知識のある試験責任者による顧客訪問を活発に進めております。

② 臨床試験

第Ⅰ相臨床試験における大型の探索QT試験の売上が実現いたしました。また、TQT試験及び第Ⅱ相臨床試験における大型案件を受注済みでありさらに市場開拓に向けた営業活動を一段と強化しております。売上高は106,429千円（前年同四半期比1,680.3%増）、営業利益は687千円（前年同四半期は営業損失33,457千円）となりました。

③ 環境

大型設備工事に加え、動物飼育機材及び保守の売上がありました。売上高は132,093千円（前年同四半期比177.2%増）、営業利益は6,656千円（前年同四半期は営業損失18,907千円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は4,297,054千円となり、前連結会計年度末と比較して237,611千円減少しました。本減少は主に、借入金の返済に伴う現金及び預金の減少と、在庫削減に伴う原材料及び貯蔵品の減少によるものであります。

負債の部の残高は2,561,082千円となり、前連結会計年度末に比べ241,474千円減少しました。減少の主な要因は、短期借入金及び長期借入金の返済によるものであります。

純資産の部の残高は1,735,972千円となり、前連結会計年度末に比べ3,862千円増加しました。本増加は主に、少数株主持分の増加によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年８月７日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	334,457	274,665
受取手形及び売掛金	231,748	254,577
商品及び製品	2,821	2,986
仕掛品	759,567	804,199
原材料及び貯蔵品	215,725	139,908
その他	168,973	183,282
貸倒引当金	△47	△143
流動資産合計	1,713,246	1,659,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,540,023	3,489,726
減価償却累計額	△1,882,184	△1,949,565
建物及び構築物（純額）	1,657,839	1,540,161
土地	819,982	781,670
その他	952,314	945,128
減価償却累計額	△742,213	△749,069
その他（純額）	210,100	196,058
有形固定資産合計	2,687,922	2,517,890
無形固定資産	89,354	77,203
投資その他の資産		
その他	39,097	38,231
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	38,197	37,331
固定資産合計	2,815,474	2,632,425
繰延資産	5,944	5,152
資産合計	4,534,666	4,297,054
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	240,492	282,063
短期借入金	220,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	391,224	283,012
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	11,421	22,423
前受金	761,307	791,394
賞与引当金	53,350	27,390
その他	215,094	218,589
流動負債合計	1,952,888	1,884,872

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
固定負債		
社債	180,000	150,000
長期借入金	451,690	329,000
退職給付引当金	3,046	1,730
役員退職慰労引当金	53,750	50,650
その他	161,181	144,828
固定負債合計	849,668	676,209
負債合計	2,802,556	2,561,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,790	684,790
資本剰余金	600,790	600,790
利益剰余金	444,484	437,813
株主資本合計	1,730,064	1,723,393
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△73,958	△80,871
その他の包括利益累計額合計	△73,958	△80,871
少数株主持分	76,002	93,450
純資産合計	1,732,109	1,735,972
負債純資産合計	4,534,666	4,297,054

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	1,389,912	1,517,306
売上原価	1,029,294	1,166,095
売上総利益	360,618	351,210
販売費及び一般管理費	373,709	337,868
営業利益又は営業損失（△）	△13,090	13,342
営業外収益		
受取利息	82	135
受取賃貸料	4,303	6,515
その他	2,459	1,692
営業外収益合計	6,845	8,342
営業外費用		
支払利息	17,729	13,555
為替差損	11,660	3,207
その他	4,400	3,618
営業外費用合計	33,790	20,381
経常利益又は経常損失（△）	△40,035	1,303
特別利益		
固定資産売却益	400	54,963
特別利益合計	400	54,963
特別損失		
減損損失	－	4,610
特別損失合計	－	4,610
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△39,634	51,656
法人税、住民税及び事業税	3,159	19,921
法人税等調整額	△21,061	△5,390
法人税等合計	△17,902	14,531
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△21,732	37,124
少数株主利益	608	19,809
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△22,340	17,314

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△21,732	37,124
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△32,389	△9,276
その他の包括利益合計	△32,389	△9,276
四半期包括利益	△54,121	27,848
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,534	10,400
少数株主に係る四半期包括利益	△5,587	17,447

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△39,634	51,656
減価償却費	133,954	122,093
減損損失	－	4,610
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6,624	97
賞与引当金の増減額（△は減少）	△28,356	△25,960
退職給付引当金の増減額（△は減少）	318	△1,221
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△1,525	△3,100
受取利息	△82	△135
支払利息	17,729	13,555
有形固定資産売却損益（△は益）	△400	△54,963
売上債権の増減額（△は増加）	333,504	△23,652
たな卸資産の増減額（△は増加）	△39,157	29,449
仕入債務の増減額（△は減少）	△178,514	42,052
前受金の増減額（△は減少）	16,940	31,063
その他	21,607	△5,539
小計	229,758	180,007
利息及び配当金の受取額	82	135
利息の支払額	△18,730	△14,189
法人税等の支払額	△40,190	△8,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	170,918	157,268
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△6,002	△5,908
有形固定資産の取得による支出	△9,647	△26,272
有形固定資産の売却による収入	1,235	152,532
その他	△463	△205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,879	120,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△100,000	△20,000
長期借入れによる収入	100,000	－
長期借入金の返済による支出	△217,302	△230,902
リース債務の返済による支出	△31,646	△35,038
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
配当金の支払額	△20,851	△24,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299,799	△340,078
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,845	△2,978
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△147,605	△65,642
現金及び現金同等物の期首残高	342,598	269,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	194,993	204,255

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計（注）
売上高				
外部顧客への売上高	1,336,281	5,978	47,652	1,389,912
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―
計	1,336,281	5,978	47,652	1,389,912
セグメント利益又は損失（△）	39,274	△33,457	△18,907	△13,090

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計（注）
売上高				
外部顧客への売上高	1,278,782	106,429	132,093	1,517,306
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―
計	1,278,782	106,429	132,093	1,517,306
セグメント利益	5,997	687	6,656	13,342

（注）セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業利益であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

（株式の分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更）

当社は、平成24年５月22日開催の取締役会決議に基づき、平成24年10月１日付で株式の分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更を実施いたしました。

１．株式の分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更の目的

平成19年11月に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえ、当社株式を上場している証券市場の利便性・流動性の向上に資するため、１株を100株に分割するとともに単元株制度の採用を行いました。なお、この株式の分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

２．株式分割の概要

(1) 分割の方法

普通株式１株につき100株の割合をもって分割いたしました。

(2) 発行可能株式総数の増加

平成24年10月１日をもって当社定款の一部を変更し、発行可能株式総数を7,920,000株増加させ、8,000,000株といたしました。

３．単元株制度の採用

普通株式の単元株式数を100株といたしました。

４．株式分割及び単元株制度採用の時期

平成24年10月１日を効力発生日としております。